

小3国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読みとり 81.3%

ねらい：漢字を正しく読みとれるか確認する。

分析と対策：いろいろな読み方を持つ漢字がありますので、一つひとつの読み方をていねいに確認して覚えましょう。訓読みは送りがなに注意して覚えましょう。音読みは熟語で覚えるとよいでしょう。

2 漢字の書きとり 80.0%

ねらい：漢字を正しく書きとれるか確認する。

分析と対策：漢字はとめやはねなどを確認しながら、一画一画正しく覚えましょう。正しい書き順を確認したうえで、くり返し練習をしましょう。

3 なかまのことば 85.0%

ねらい：なかまのことばについて理解を問う。

分析と対策：意味がわからないことばは、国語辞典を使って調べる習慣をつけましょう。ことばの意味を確認するのはもちろんですが、そのことばが文中でどのような使われ方をするのかも調べておくと、自分で文章を書くときに役立ちます。

4 反対の意味のことば 68.3%

ねらい：反対の意味のことばについて理解を問う。

分析と対策：文中で使われていることばは、どのような意味を表しているのかを読みとることが大切です。「ない」をつけるか否定の意味を表しますが、反対の意味のことばにはならないことに注意しましょう。

5 なた意味のことば 86.7%

ねらい：なた意味のことばについて理解を問う。

分析と対策：そのことばが文中でどのような意味を表しているのかを考えて、入れかえたとしても、同じ意味になるようなことばを選びましょう。例えば、「ドアをひらく」を「ドアをあける」に言いかえても、同じ意味の文になります。

6 物語の読みとり 40.6%

ねらい：場面と登場人物の気持ちの変化をつかんでいるか確認する。

分析と対策：ひっこしをする美波のおわかれ会に、友だちの洋生はきてくれませんでした。洋生は集会がきらいだったからです。洋生におわかれのあいさつができていないことを気にしていた美波は、あることをきっかけに東京にひっこすということを実感します。さびしさがこみあげるなか、美波は洋生にちゃんとさよならを言いに行こうと動き出します。場面と美波の心の動きをていねいに読みとりましょう。

7 説明文の読みとり 27.8%

ねらい：何についての説明が正しくつかむことができるか確認する。

分析と対策：この文章では、まず鳥のサギのなかまの特ちょうについてふれ、次にシラサギやその他のサギについて述べています。実はシラサギという名の鳥はいないこと、それぞれのサギの名前や生態の特ちょうなどをおさえます。文章中の、どこに、どのような内容が書かれているのかをていねいに読みとりましょう。

全体の平均点は 51.0 点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけてみましょう。